



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 森六株式会社

コード番号 4249 URL <https://www.moriroku.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 最高経営責任者 （氏名） 黒瀬 直樹

問合せ先責任者 （役職名） 経理財務部長 （氏名） 清水 恵 TEL 03 (3403) 6102

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	48,191	42.5	2,297	113.4	2,297	153.6	3,498	560.5
2026年3月期第1四半期	33,821	△6.7	1,076	△23.6	906	△42.4	529	△65.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 4,950百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △455百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	244.20	—
2026年3月期第1四半期	36.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	174,899	83,171	40.2
2026年3月期	123,733	67,355	53.5

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 70,303百万円 2026年3月期 66,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	57.50	—	57.50	115.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	62.50	—	62.50	125.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	95,600	44.2	2,900	59.6	2,800	74.4	3,900	306.9	272.26
通期	194,600	45.4	6,500	40.1	5,600	40.2	5,400	120.7	376.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) 森六ReNova株式会社、森六モビリティプロダクツ株式会社、Moriroku Mobility Products (Thailand) Co., Ltd.

除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	14,410,000株	2026年3月期	14,410,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	55,519株	2026年3月期	94,619株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	14,324,679株	2026年3月期1Q	14,446,417株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2026年3月期 54,500株、2027年3月期1Q 15,400株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期1Q 127,734株、2027年3月期1Q 45,202株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰やサプライチェーンの混乱を背景に、ナフサや化学品の価格が上昇するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界では、国内は堅調に推移し、北米では燃費性能の優れたハイブリッド車の需要が拡大しました。一方、中国では電気自動車へのシフトが加速し、日系自動車メーカーの販売低迷が継続しました。また、アジアではインドは好調だったものの、インドネシアでは中国EVメーカーとの競争激化により厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、2026年4月1日付で森六ReNova株式会社および同社子会社2社（以下「ReNovaグループ」）を連結の範囲に含めた影響等により、売上高48,191百万円（前年同期比42.5%増）、営業利益2,297百万円（同113.4%増）となりました。経常利益は、前年同期に計上した為替差損が当第1四半期は為替差益に転じたことなどにより、2,297百万円（同153.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ReNovaグループの連結子会社化に伴い、負ののれん発生益を計上した影響により3,498百万円（同560.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

①樹脂加工製品事業

日本では、主要顧客の自動車生産台数が好調に推移したことに加え、ReNovaグループの新規連結に伴い増収増益となりました。北米では、主要顧客の生産が堅調に推移したほか、生産効率の改善や労務費の減少等により増収増益となりました。アジアでは、ReNovaグループの新規連結に伴い、増収増益となりました。一方、中国では、金型補償益の計上などもあったものの、主要顧客の減産の影響により減収減益となりました。

このような結果、売上高は41,697百万円（前年同期比50.5%増）、営業利益は2,040百万円（同65.1%増）となりました。

②ケミカル事業

中東情勢の影響に伴う顧客の在庫積み増しやスポット取引の増加、仕入価格の上昇による価格改定効果により、売上高は6,494百万円（前年同期比6.3%増）となりました。分野別では、自動車向け原材料や機能材の販売は日系自動車メーカー向けを中心に苦戦したものの、半導体・LED関連用途向け材料の販売は好調に推移しました。また、ものづくり分野で、食品・半導体向けの高機能フィルムの販売が伸長しました。

営業利益は、増収効果に加えて、ものづくり分野における製造経費の削減などにより、724百万円（同157.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、ReNovaグループを新たに連結の範囲に含めた影響等により、資産、負債および純資産が前連結会計年度末に比べ増加しました。その概要は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は105,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,862百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が18,775百万円、受取手形及び売掛金が8,358百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は69,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,304百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が5,697百万円、工具、器具及び備品が3,252百万円、機械装置及び運搬具が3,182百万円、建物及び構築物が2,813百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は174,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ51,166百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は69,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,718百万円増加しました。これは主に、短期借入金が6,397百万円、支払手形及び買掛金が5,408百万円、その他に含まれる未払金が2,389百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は22,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,630百万円増加しました。これは主に、長期借入金が13,281百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は91,727百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,349百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は83,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,816百万円増加しました。これは主に、非支配株主持分が11,663百万円、利益剰余金が2,692百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想については、2026年5月14日に公表した業績予想を修正しました。詳細については、本日公表した「特別利益（負ののれん発生益）の計上ならびに2027年3月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,884	34,660
受取手形及び売掛金	30,224	38,582
電子記録債権	1,901	2,242
商品及び製品	7,164	7,096
仕掛品	7,805	9,275
原材料及び貯蔵品	4,329	5,173
その他	4,903	8,050
貸倒引当金	△34	△40
流動資産合計	72,178	105,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,156	16,969
機械装置及び運搬具（純額）	9,378	12,561
工具、器具及び備品（純額）	3,491	6,743
土地	4,984	6,463
リース資産（純額）	475	454
建設仮勘定	5,163	10,860
有形固定資産合計	37,649	54,053
無形固定資産	1,586	1,736
投資その他の資産		
投資有価証券	8,484	9,696
長期貸付金	751	—
退職給付に係る資産	1,777	1,759
繰延税金資産	514	1,440
その他	795	1,174
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	12,319	14,069
固定資産合計	51,554	69,858
資産合計	123,733	174,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,579	23,987
電子記録債務	1,185	1,225
短期借入金	15,096	21,493
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	639	※ 2,548
リース債務	334	323
未払法人税等	301	849
関係会社整理損失引当金	329	247
債務保証損失引当金	17	64
その他	12,635	18,098
流動負債合計	49,289	69,008
固定負債		
社債	688	603
長期借入金	2,216	※ 15,497
リース債務	677	850
繰延税金負債	2,457	2,915
退職給付に係る負債	590	2,269
資産除去債務	173	287
その他	282	294
固定負債合計	7,088	22,719
負債合計	56,377	91,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	1,398	1,398
利益剰余金	48,195	50,887
自己株式	△162	△53
株主資本合計	51,071	53,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,062	3,773
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	11,234	11,902
退職給付に係る調整累計額	779	752
その他の包括利益累計額合計	15,079	16,431
非支配株主持分	1,205	12,868
純資産合計	67,355	83,171
負債純資産合計	123,733	174,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	33,821	48,191
売上原価	27,947	38,837
売上総利益	5,873	9,354
販売費及び一般管理費	4,797	7,056
営業利益	1,076	2,297
営業外収益		
受取利息	37	59
受取配当金	100	128
為替差益	—	65
持分法による投資利益	—	7
その他	37	66
営業外収益合計	175	327
営業外費用		
支払利息	175	266
為替差損	131	—
持分法による投資損失	15	—
その他	22	59
営業外費用合計	345	326
経常利益	906	2,297
特別利益		
固定資産売却益	13	22
補助金収入	37	4
負ののれん発生益	—	2,172
債務保証損失引当金戻入額	47	—
特別利益合計	98	2,199
特別損失		
固定資産売却損	20	11
固定資産除却損	2	12
債務保証損失引当金繰入額	—	46
特別損失合計	22	71
税金等調整前四半期純利益	981	4,426
法人税等	446	787
四半期純利益	534	3,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	529	3,498

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	534	3,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	719
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△967	625
退職給付に係る調整額	△16	△27
在外子会社のその他退職後給付調整額	△12	—
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△5
その他の包括利益合計	△989	1,312
四半期包括利益	△455	4,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△460	4,850
非支配株主に係る四半期包括利益	5	100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,715	6,106	33,821	—	33,821
セグメント間の内部売上高または振替高	144	217	361	△361	—
計	27,859	6,323	34,182	△361	33,821
セグメント利益	1,235	281	1,517	△441	1,076

(注) 1. セグメント利益の調整額△441百万円には、セグメント間取引消去27百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の本社費用△469百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,697	6,494	48,191	—	48,191
セグメント間の内部売上高または振替高	142	116	258	△258	—
計	41,839	6,610	48,449	△258	48,191
セグメント利益	2,040	724	2,764	△467	2,297

(注) 1. セグメント利益の調整額△467百万円には、セグメント間取引消去△3百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の本社費用△464百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社レゾナックが新たに設立した成形部材分割準備株式会社(現森六ReNova株式会社)の株式を取得し、同社および同社の子会社にあたる株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ(現森六モビリティプロダクツ株式会社)、Resonac Automotive Products (Thailand) Co., Ltd.(現Moriroku Mobility Products (Thailand) Co., Ltd.)の3社を新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「樹脂加工製品事業」において49,873百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂加工製品事業」において、上記の3社を当社の連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を計上しています。

当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2,172百万円でありますが、当第1四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含まれていません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 財務制限条項

シンジケートローン

①各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2025年3月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、または直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。

②各事業年度末日における連結損益計算書に記載される営業損益を2回連続して損失としないこと。

③各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される有利子負債の合計金額を、連結損益計算書における営業利益および連結キャッシュ・フロー計算書における減価償却費の合計金額で除した値を7超としないこと。

財務制限条項の対象となる長期借入金残高は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）	一百万円	14,463百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,523百万円	2,267百万円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

株式会社レゾナックが新たに設立した成形部材分割準備株式会社の全株式を2026年4月1日付で取得したため、当第1四半期連結会計期間より同社および同社の子会社である株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツおよびResonac Automotive Products (Thailand) Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。

なお、成形部材分割準備株式会社、株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツおよびResonac Automotive Products (Thailand) Co.,Ltd.は、同日付でそれぞれ、森六ReNova株式会社、森六モビリティプロダクツ株式会社およびMoriroku Mobility Products (Thailand) Co.,Ltd.に商号を変更しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、広州森六塑件有限公司、武漢森六汽車配件有限公司、森六(上海)貿易有限公司、森六(広州)貿易有限公司および森六(天津)化学品貿易有限公司は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更により、当第1四半期連結累計期間は、2026年4月1日から2026年6月30日までの3か月間を連結しております。

なお、当該連結子会社の2026年1月1日から2026年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(重要な後発事象の注記)

(借入金の期限前弁済)

当社は、2026年8月6日開催の取締役会において、当社が締結しているシンジケートローン契約に基づく借入金について、期限前弁済を行うことを決議いたしました。

(1) 期限前弁済の目的

今後の経営戦略の実行を財務面からより強固に支えるため、金利負担の軽減を目的として、2026年9月末に、金融機関との短期ブリッジローンにより、以下のシンジケートローンを全額期限前弁済いたします。その後、2026年11月末を目途に、借入条件を見直したシンジケートローン契約の締結を予定しています。

(2) 本契約の内容

① 本契約の締結日	2026年3月27日
② 借入実行日	2026年4月1日
③ 相手方の属性	都市銀行、地方銀行、信託銀行 計6行
④ 借入金額	14,463百万円(2026年6月30日現在)
⑤ 借入金利	基準金利＋スプレッド
⑥ 返済方法	3ヵ月毎の元本均等返済
⑦ 弁済期限	2033年3月31日
⑧ 担保等の内容	該当事項はありません。

(3) 弁済時期

2026年9月30日(予定)

(4) 弁済のための資金調達の方法

当社は、金融機関との短期ブリッジローンにより、本期限前弁済を実施する予定です。

(5) 今後の見通し

本期限前弁済により、当連結会計年度以降の支払利息の軽減が見込まれます。本期限前弁済に伴う特別損益の発生はありません。シンジケートローンの見直しを決定した際には、速やかにお知らせいたします。